



図解 研究開発テーマの価値評価 イノベーション時代の費用対効果の実践的な考え方

著者 出川 通+大澤良隆

A5判・217ページ，定価：1,800円（本体）+消費税，言視舎

本書は，研究開発テーマを，空間軸（開発領域，分野）と時間軸（研究開発ステージ）に分けて，経済的な成功確率や費用対効果の観点などから，それぞれに合った専門的な評価方法を紹介し，詳しく解説したものである。一定以上の規模の企業において，研究開発のマネジメントに携わる企業研究者向けの専門書となっている。応用編以降は，専門的な用語が増えると同時に内容の難易度も高くなるが，感覚的には掴みやすい話で構成されている。昨今では，アカデミックの世界でも成果主義の導入が叫ばれるようになっており，アカデミア研究者にご一読いただくのもよいかもしれない。

（大阪市立大学 尾島 由紘）